

**平成 29 年度  
自己評価・学校関係者評価報告書**

**学校法人佐山学園  
アジア動物専門学校**

**[1]教育理念・目標**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
学校の理念・教育の目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は明確になっているか	4
学校の理念・教育の目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。	4

**(自己評価)**

建学の精神に基づき教育理念を定め、全国ペット協会等の関連業界・団体のニーズを反映させた育成人材像と教育目標を明確にして教育に取り組んでおり、学校行事や学校案内、ホームページにより学生や保護者に周知している。

**(課題と今後の改善方策)**

関連業界・協会のニーズを反映させた育成人材像と教育目標の見直しを継続して行う必要がある。

**(学校関係者評価)**

学校の理念や教育目標等は、様々な機会を通して学生や保護者に直接伝えてほしい。

**(特記事項)**

なし

**[2]学校運営**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
学校運営に関する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4

**(自己評価)**

教育目標を達成するために、運営方針に沿った事業計画の策定と予算編成を行い教育活動に取り組んでおり、評価報告書を情報公開している。また、人事等も含めた運営組織とコンプライアンスに関する規定等を整備して学校を運営している。

**(課題と今後の改善方策)**

安定した学校運営を行うために、規定・マニュアル、組織等を定期的に見直す必要がある。

**(学校関係者評価)**

コンプライアンスの遵守と情報公開は学校として大切なことなので、規定や体制の整備に取り組まなければならない。

**(特記事項)**

なし

[3]教育活動

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの編成や見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
講義および実習に関するシラバスは作成されているか	3
学生アンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントは行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4

(自己評価)

関連業界・協会等と連携して教育目標に沿った教育課程を体系的に編成し、資格取得の指導体制を整備して教育活動を行っている。また、学生や外部関係者の評価を教育課程の編成に反映させており、研修制度を充実させて質の高い教育を提供している。

(課題と今後の改善方策)

教育理念に沿った教育課程の編成方針の明文化やシラバスを学生に配布すること、一部の教員の授業時間数が多い点の改善に取り組む。

(学校関係者評価)

業界のニーズに合わせ、実習の量と質の向上に力を入れている。在学中に身に付く技術力が非常に高いと感じている。

教員の資質向上のための研修を、学校として計画的に行わなければいけない。

(特記事項)

なし

#### [4]学修成果

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### (自己評価)

充実した就職支援プログラムと資格取得支援体制の整備により就職率・資格取得率とも高い実績となっており、1年後期にコース選択できるカリキュラムと少人数教育、本校独自の経済的支援制度により退学率の低減に取り組んでいる。

また、就職先企業等への訪問により卒業生の評価を把握しているが、より多くの卒業生の評価を把握して教育活動の改善に結び付ける必要がある。

##### (課題と今後の改善方策)

就職率と資格取得率の向上と退学率の低減のために、質の高い教育の提供と支援体制の整備に取り組んでいくとともに、就職先企業等へのアンケート調査を実施するなど、卒業生の評価を教育活動の改善に活用していく。

##### (学校関係者評価)

卒業生へのアンケートだけでなく、就職先へのアンケートも実施することで、学校教育の内容と現場で求められる内容の差が見えてくる場合もあるので、これらの調査を上手く行い、今後のカリキュラムにも活かしてほしい。

学修成果について具体的な目標を設定し、目標達成に向けて教職員が一丸となって取り組む必要がある。

##### (特記事項)

なし

**[5]学生支援**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する支援体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

**(自己評価)**

保護者と三者面談を実施するなど連携して在校生を支援する体制を整備しているが、卒業生に対する卒業後教育や社会人に対する教育環境の整備は行っていない。また、職業教育として県下の高校・中学と連携してインターンシップ生を受け入れている。

**(課題と今後の改善方策)**

卒業後教育や社会人のニーズの把握に取り組み、支援体制を整備する。

**(学校関係者評価)**

資格試験に不合格のまま卒業した場合の、再受験を目指す卒業生向けの相談・質問の窓口があると、より安心できる。

既に動物系職業のプロとして活躍していた社会人が、何らかの理由に退職した後、期間を空けてから復帰する場合に、技術的なブランクを取り戻すための講習などが受けられると良い。

三者面談を実施するなど、保護者と連携して学生を支援しているが、卒業生の支援を今後とも充実させてほしい。

**(特記事項)**

なし

**[6]教育環境**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4
学校施設・設備等が定期的に管理・点検されているか	3
実習室等の学校施設・設備の利用割り当てが明確になっているか	4
インターンシップについて、依頼先と十分なコミュニケーションを取り、その内容、評価法等を事前に決めているか	4
海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	4

**(自己評価)**

施設・設備は専修学校設置基準を満たしており、教育上十分な環境を整備している。また、防災マニュアルを整備して避難訓練等を実施しており消防署による定期点検も受けている。

インターンシップは、受入先に実習内容や評価方法等を事前に依頼してから実施しており、海外研修も毎年実施している。

**(課題と今後の改善方策)**

学校施設・設備の定期点検に関するマニュアル等を整備して管理していく。

**(学校関係者評価)**

学内実習施設や学外の提携実習施設は充実しているが、施設・設備の維持管理に関する規定やマニュアル等の整備に取り組んでほしい。

**(特記事項)**

なし

## [7]学生の受入れ

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

価項目	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当か	4

### (自己評価)

学生募集活動に関しては、学校案内・募集要項・ホームページやオープンキャンパス、ガイダンスを通して、求める学生像を明確にして教育成果を正確に伝えている。また、学納金に関しては、近隣の動物系専修学校と比較して妥当な金額になっており、募集要項に必要な費用を記載している。

### (課題と今後の改善方策)

今後も求める学生像を明確にして、適正な学生募集活動を行って学生を確保したい。

### (学校関係者評価)

実習の量と質の向上に力を入れており、在学中に身に付く技術力の高さが特色にもなっていると感じる。「実習の量と質」が違うことを、これからも上手に謳ってみてはどうか。

18歳人口が減少する中、丁寧に学校の特色やカリキュラム、資格取得実績、就職実績を伝える努力を続けてほしい。

### (特記事項)

なし

**[8]財務**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

**(自己評価)**

財政基盤は安定しており、予算管理や会計監査は適正に行なわれ、財務情報もホームページに公開している。

**(課題と今後の改善方策)**

今後も適正な予算管理や会計監査を行い、財務情報を公開して財政基盤を安定させる。

**(学校関係者評価)**

適正な会計監査が行われており、収支バランスと財政基盤は安定している。

**(特記事項)**

なし

**[9] 法令等の遵守**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

**(自己評価)**

法令と専修学校設置基準等を遵守し適切な学校運営を行っており、個人情報保護規定を整備しセキュリティ強化に取り組み、個人情報の保護に努めている。また、自己評価についてはホームページ上に公開しているが、内部監査体制を整備する必要がある。

**(課題と今後の改善方策)**

自己評価における内部監査体制の整備と内部監査員のスキルアップが必要になっているため、内部監査員養成研修への参加や学内研修等により内部監査体制を整備する。

**(学校関係者評価)**

自己評価と学校関係者評価を活用して、PDCA サイクルを機能させ課題の改善に繋げる体制を整備してください。

**(特記事項)**

なし

**[10]社会貢献・地域貢献**

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

(自己評価)

関連業界・協会等と連携して、学校長による現職トリマーや専門学校指導者対象のトリミングセミナーを開催するなど、トリマー養成教育の充実に貢献している。また、高齢者施設への動物介在活動や石岡市と連携した定期的な学生ボランティア活動を支援している。

(課題と今後の改善方策)

今後も学校として社会貢献や地域貢献を支援する体制を維持する。

(学校関係者評価)

学校として社会貢献・地域貢献とも継続して行ってほしい。

(特記事項)

なし

[11]動物看護分野(非公開予定)

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
講義に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4
実習に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4
講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	3
動物を使用する実習、実験等に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	2
実習室には検査に必要な設備が備わっているか	4
基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が使用できるか	4
自己学習に必要な図書室ないし図書スペースおよびコンピュータが利用できる環境があるか	2

(自己評価)

機構推奨のコアカリキュラムを導入しており、施設・設備を整備して実習に必要な動物も確保できている。学生の受講前の能力等は高等学校調査書等を参考に把握しているが、アンケートやヒアリングは行っていない。また、動物の取り扱いに関する倫理規定等は整備しておらず、図書スペースやコンピュータを利用できる環境もない。

(課題と今後の改善方策)

動物福祉の視点から実習等で利用する動物に関する規定を策定しなければならない。また、学内に図書スペースやパソコンを使用できる環境を整備できるか検討する。

(学校関係者評価)

動物福祉の観点から、実習に用いる動物の倫理規定や実習マニュアルは必要である。学校の施設・設備に関する将来計画を策定する時に、実習室や図書室も検討してほしい。

(特記事項)

なし